

[早坂効果利用反重力装置 とグラビフライヤー比較]

2023/05/20

浦野 良一

反重力研究の発端、弱い相互作用の対称性の破れ！なら、一番弱い重力ではどうか？ベータ崩壊と反重力は左手系

ベータ崩壊における核からの放出電子の方向

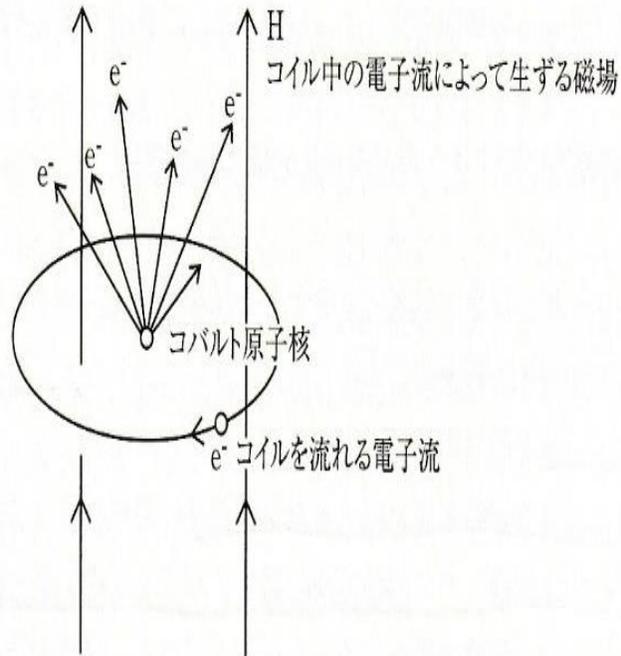
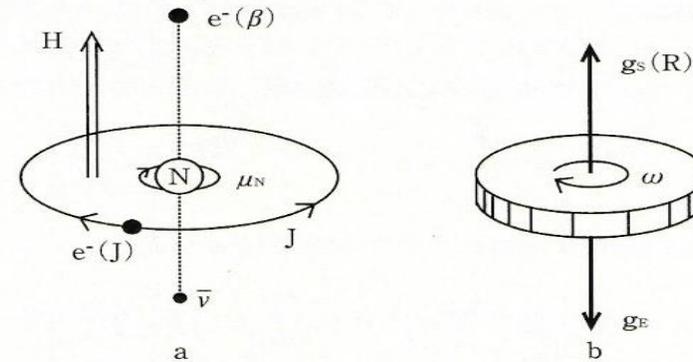


図1

コバルト60のベータ崩壊と右回転系での反重力



- a: コバルト60のベータ崩壊。e⁻(β)とe⁻(J)、μ_Nとe⁻(β)は左手系を形成
- b: 右回転で生成される反重力、ωとg_s(R)は左手系を形成
- e⁻(β): コバルト60の原子核から放出される電子
- μ_N: コバルト60の原子核の磁気モーメント
- J: 磁場Hを作るためのコイルに流れる電流
- e⁻(J): 電流Jに対応している電子流
- ν̄: 反中性微子
- g_s(R): 右回転体によって生成される反重力加速度
- g_E: 地球による重力加速度

図2

早坂秀雄氏の“右回転”反引力効果

右回転(上から見て右回転)による重量減少、落下時間長い(反引力)効果

[右回転]
 質量200g、
 回転半径3Cm
 程度で
 12,000
 ~18,000rpm
 の回転で
 10~15mg重
 の重量減少
 1.7mの落下で
 10万分の1秒
 落下時間が長
 い。

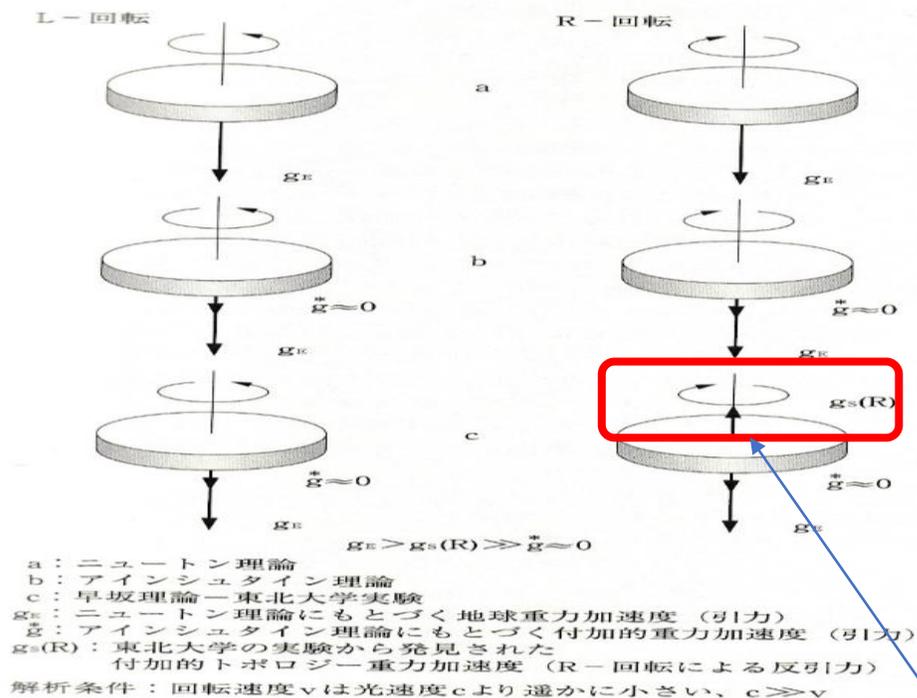


図3

右回転による反引力効果

右回転効果を利用した“磁性流体回転型”

反重力推進機関(強磁性体のスピンと磁性流体の右回転を利用)

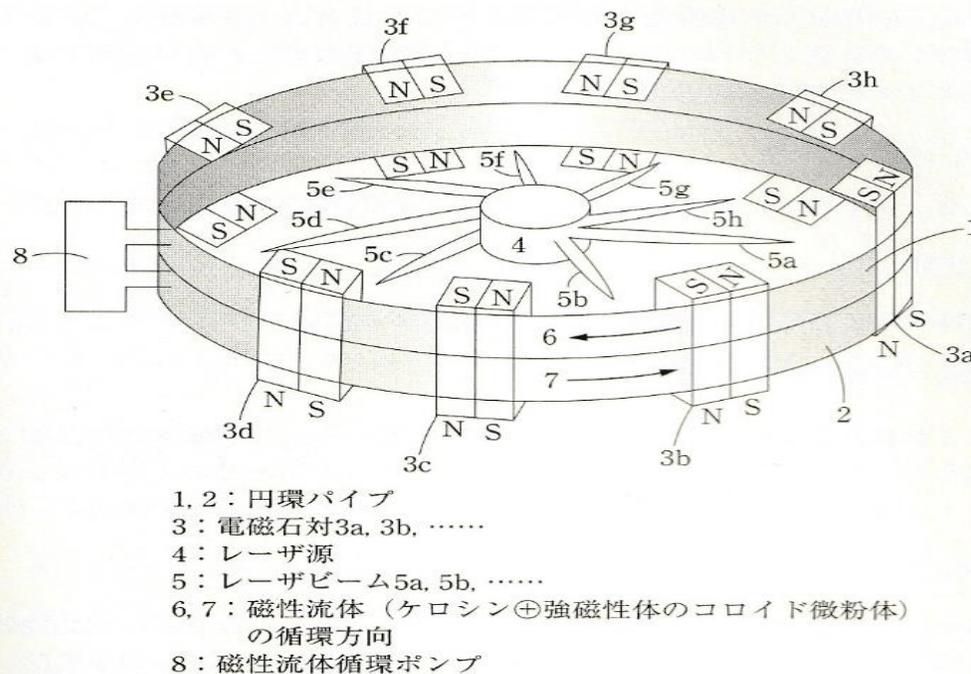


図4

早坂反重力機関とグラビフライヤー比較

早坂式反重力機関

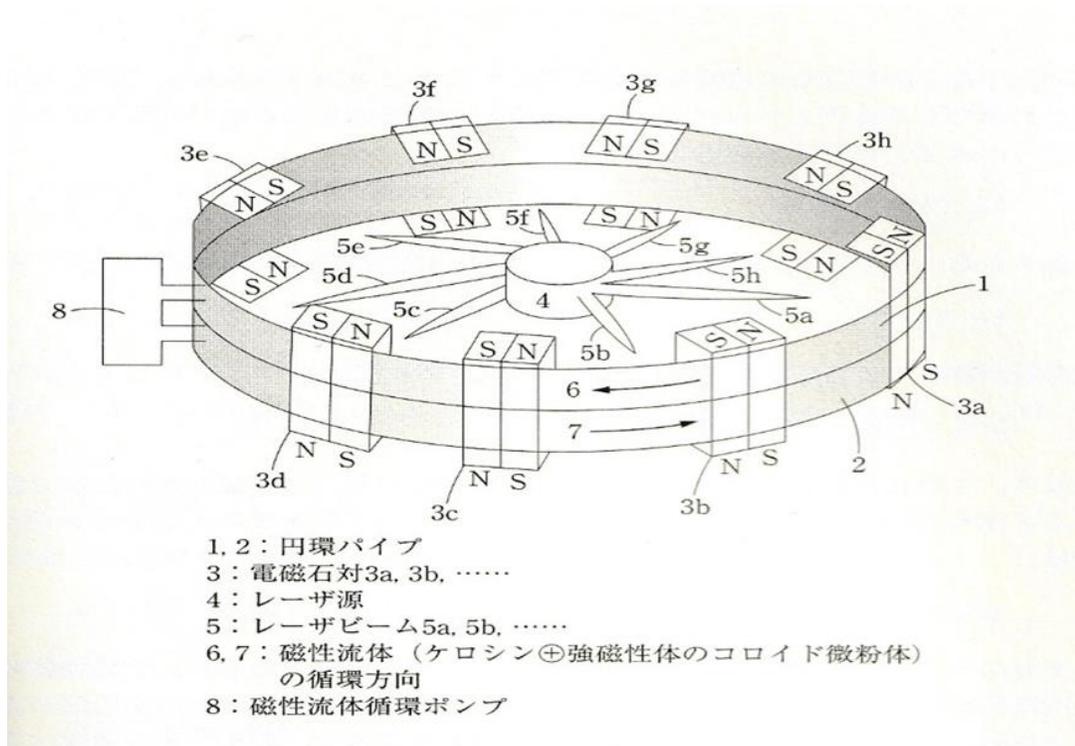


図5(図4と同図)

グラビフライヤー

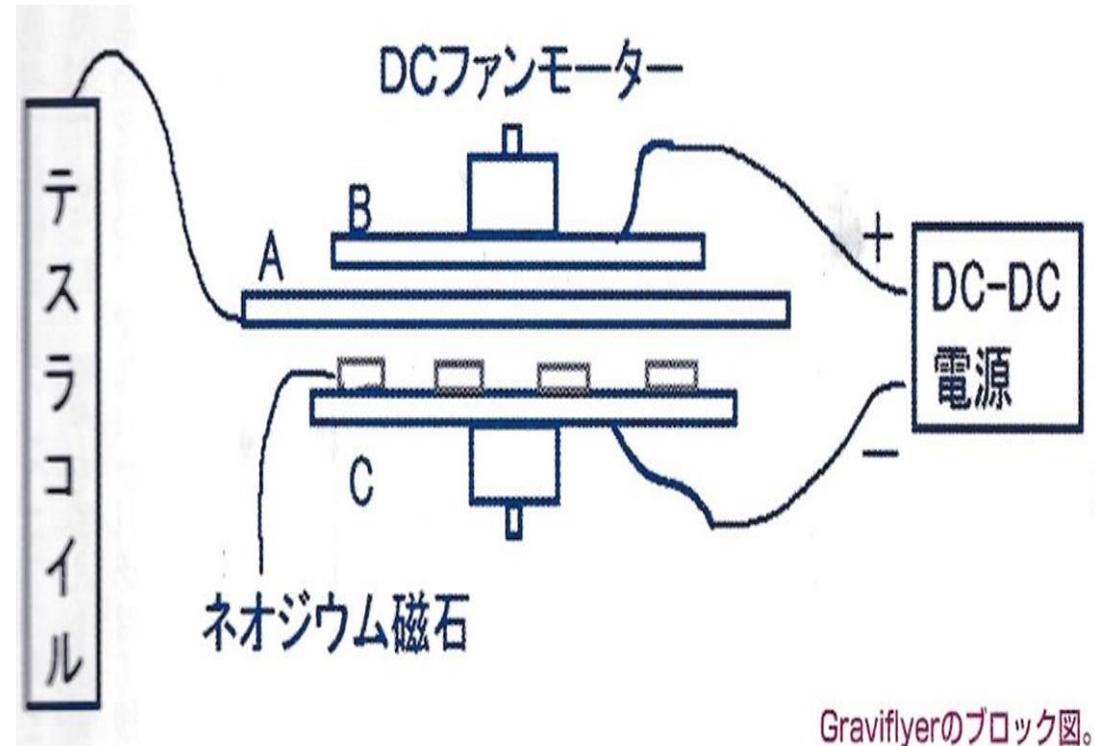


図6

Graviflyerのブロック図。